

## 第 29 回 100 年史誌部会 議事録

日時: 2008 年 9 月 10 日(水) 16 時 00 分～17 時 40 分

場所: 重要文化財・本館 2 階会議室

出席者: 横山部会長、松田、奥山、大町、神戸、高畑、片山、赤平、山崎各委員、小室編集局員

欠席者: 栗野、金子、小山、小池各委員、斎藤編集補助員

### 【配布資料】

[資料 29-1] 山形大学工学部 100 周年記念誌「百人の声」執筆のお願い

[資料 29-2] (今月の話題) ライフラインから山形大学工学部を考える (神戸委員)

[資料 29-3] 学制の変遷 (昭和 36 年～平成 2 年)

[資料 29-4] 100 周年記念誌(Journal) 第 29 回部会議題

[資料 29-5] 重文内アルバム・写真リスト (機械システム・松田)

### I) 連絡事項

1. web site 内に写真アーカイブスを構築する旨、小室編集局員から報告があった。
2. 「百人の声」執筆依頼状について、資料 29-1 に基づいて小室編集局員から説明があった。後ほど電子ファイルで部会員に配布する。各自確認し、不具合がある場合は報告を、また各系・ユニットで使用されたい旨、説明があった。
3. 次回(10 月)の「今月の話題」は山崎委員が担当する旨、小室編集局員から依頼があり、お引受けいただいた。

### II) 協議事項

#### 1. 百年史

- (1) 今月の話題「ライフラインから山形大学工学部を考える」について、資料 29-2 に基づき、神戸委員から説明があった。
- (2) 戦後の学制変遷(昭和 36 年～平成 2 年)に関して 29-3 に基づき、小室編集局員から説明があった。主なポイントは次の通りである。
  - ・ 昭和 37 年 国立大学の管理・運営に関する意見書提出
  - ・ 昭和 38 年 国立大学の大学院に置く研究科の名所及び課程を定める政令
  - ・ 昭和 39 年 旧帝大以外の大学に大学院(修士課程)設置、山形大学にも 5 専攻設置。4 月に入学試験。定員 44 名に受験者 2 名。
  - ・ 昭和 40 年 大学院精密工学専攻増設
  - ・ 昭和 40 年代からベビーブーマーが進学世代に達し、大学の大衆化が始まる。募集人員の増加。学科増設。多人数教育。
  - ・ 昭和 42 年 総理大臣が学園紛争の頻発について大学管理の検討を文部大臣に指示
  - ・ 昭和 43 年 9 月 工学部多人数教育施設(示範教室、物理・化学・電気電子基礎実験室)完成
  - ・ 昭和 44 年 大学院高分子化学専攻増設
  - ・ 昭和 48 年 旧米沢高等工業学校本館 国の重要文化財指定を受ける
  - ・ 昭和 54 年 共通一次学力試験
  - ・ 平成 3 年 学位の簡略化「学位制度の見直しと大学院の評価」「学位授与機関の創設」

#### 2. 100 周年記念誌

- (1) キーワード説明文
  - ・ 提出された各系・ユニットから説明があり、各委員からコメントがあった。
  - ・ 更に裏付け資料の収集や執筆を継続する。
  - ・ 語数として 100 字では短いとの要望が出された。最終的にページ数(製作費用)に関わってくる問題であるが、多少増えても良いとした。
- (2) 歴史的写真リストアップ
  - ・ 松田班長から資料 29-5 に基づき、重文内アルバム・写真リスト(機械システム) について説

明があった。

- ・ 各系の委員に対して重文の各系の展示室内に写真アルバムがあるので、そのリストを作成する旨、再度確認した。まず、アルバム冊子毎の情報リストを作成し、必要に応じて、そのアルバムに収蔵されている写真の内容について再調査をする、という手順を進める。

(3) 百人の声の進めた方について

- ・ 当初の日程が遅すぎ、また短すぎるとの指摘を受け、スケジュールについて見直した。
  - ・ 先行執筆は 2008年9月に人選と執筆依頼、11月原稿完成 とする。
  - ・ 本番は 2009年1月に人選と執筆依頼、4月原稿完成 としたい。
- ・ 執筆者として、当初米沢市に関係する一般の方も想定していたが、教職員、OB、学生、卒業生など大学関係者とし、工学部としての思想が浮き彫りにされることを目指す。

(4) 100周年記念誌全体の進め方について

- ・ 日程や担当、各章の未定項目を整理し、明確化する。
- ・ 「ぎょうせい」との打合せを進める。

III) その他

- ・ 横山部会長から百年史の部局史に関しても、執筆の割り当ての具体化作業を進めるよう、指示があった。
- ・ 奥山委員から、重文内に所蔵されている写真アルバムの写真を使用するにあたり、学科長などの了解をとることは現実的では無く、使用する際に注意して取り扱うことが現実的であろうと意見が出され了解された。

IV) 次回の会議について

- (1) 次回は 10月8日(水)16時10分から、管理棟2階 第一応接室

2008年9月18日